

令和3年度 決算

普通会計決算認定特別委員会説明資料

政策創造部

目 次

I	令和3年度政策創造部主要施策の成果の概要	1
II	主要事業の内容及び成果	5
III	歳入歳出決算額	1 0
1	一般会計決算額	1 0
(1)	歳入決算額	1 0
(2)	歳出決算額	1 1
2	特別会計決算額	1 2
(1)	歳入決算額	1 2
(2)	歳出決算額	1 3

I 令和3年度政策創造部主要施策の成果の概要

1 『未知への挑戦』とくしま行動計画の推進

(総合政策課)

国難を打破し、「徳島版SDGs・持続可能な社会」の実現に向け、本県の進むべき方向を示し、重点的に取り組む施策をまとめた『未知への挑戦』とくしま行動計画について、県民目線、現場主義に立ち、着実に推進するとともに、社会情勢の変化を踏まえ、「進化する計画」として、改善見直しを行い、更なる展開を図った。

2 対外発信戦略の推進

(万博推進課)

本県の認知度の向上・ブランドイメージの確立を加速するため、徳島由来の魅力を「#徳島」により関連付けした効果的な情報発信戦略を展開した。

また、関西広域連合の一員として2025年「大阪・関西万博」に積極的に参画し、先駆的技術や食・文化など徳島の魅力を世界に向けて発信するべく取組みを推進した。

3 真の分権型社会の実現と広域行政の着実な推進

(万博推進課)

全国初の府県域を越えた責任ある行政主体である関西広域連合において、本県が事務局を担う広域医療など7分野の広域事務をはじめとする新たな広域課題に取り組むとともに、国からの事務・権限の移譲や、地方税財政の充実強化など地方分権改革を推進するため、市町村との協力体制の下、全国知事会や関西広域連合などと連携した政策提言等により、「広域行政」を戦略的に展開し、地方が主導する「真の分権型社会」の実現を目指し、様々な取組みを推進した。

- 4 統計調査の実施とエビデンスに基づく政策立案（E B P M）の推進（統計データ課，デジタルとくしま推進課）
行政施策推進の基礎資料となる，経済センサス活動調査，社会生活基本調査などの各種統計調査を実施するとともに，県民経済計算をはじめとする加工統計の作成・分析に取り組んだ。
また，産学官連携によるE B P M推進体制の下，統計データ分析によるエビデンス創出を行うとともに，エビデンスに基づく政策立案を推進し，合理的かつ質の高い行政サービスの提供に取り組んだ。
- 5 首都圏における拠点機能の発揮（東京本部）
中央省庁等との連絡・折衝や迅速かつ正確な情報収集を行うとともに，「徳島発の政策提言」を実施するなど首都圏における拠点機能を発揮した。
また，徳島の魅力発信や人・企業を徳島に呼び込むため，積極的な情報発信を行った。
- 6 関西圏における拠点機能の発揮（関西本部）
関西広域連合との連絡調整や迅速かつ正確な情報収集，本県の情報発信など，関西圏における拠点機能を発揮するとともに，広域行政の促進を図った。
- 7 県立総合大学校「まなびーあ徳島」の機能の充実・強化（県立総合大学校本部）
県内の生涯学習を推進する機関として設置された県立総合大学校において，県民ニーズや社会潮流に即した講座を開設するなど，21世紀を担う人材創造に向けた「県民“まなび”拠点」として，「まなびーあ徳島」の機能の充実・強化を図った。

8 高等教育機関との連携強化

(県立総合大学校本部)

大学をはじめとする高等教育機関と連携し、地域の課題解決や活性化に向けた取組みを推進するとともに、高等教育機関による地域貢献活動や地域を担う人材育成に向けた取組みを支援した。

また、大学生等の県内における就業を促進するとともに、産業人材の確保を図るため、大学等を卒業後に県内事業所で一定期間就業した際に、奨学金の返還を支援する「徳島県奨学金返還支援制度」の効果的な運用に努めた。

9 市町村行財政の充実強化

(市町村課)

住民に最も身近な行政主体である市町村が、自主性や自立性などを発揮した行財政運営や行財政基盤の充実強化が行えるよう、積極的に助言等を行うとともに、地域課題等に対し積極果敢に取り組む市町村を支援した。

10 地方創生の推進

(とくしまぐらし応援課)

今や最大の国難となった「新型コロナウイルス感染症」をはじめ、「人口減少」と「災害列島」の「3つの国難」を打破するため、「総合戦略」において、「グリーン社会」と「デジタル社会」の実装を「推進エンジン」と位置づけ、サテライトオフィス誘致をはじめとした「新次元の分散型国土」の具現化に向けた取組みを展開した。

また、若者の「とくしま回帰」を一段と加速するため、徳島県の強みである「光」を軸とした「光関連産業の振興」と「光応用専門人材の育成」の取組みを推進した。

11 移住交流の推進

(とくしまぐらし応援課)

「とくしま回帰」の更なる加速に向け、「若者」「女性目線」「大阪圏」視点での取組みを充実強化し、徳島ならではの創意工夫を凝らした移住促進施策を多様に展開することで、移住・交流の促進を図った。

12 過疎地域等の振興

(市町村課，とくしまぐらし応援課)

過疎地域等の振興を図るため，地域の実情に応じた過疎対策事業の円滑な推進に努めるとともに，地域資源を活用した新しい事業の創出や集落再生の取組みを支援した。

13 デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

(デジタルとくしま推進課)

デジタルで全てがつながる社会への転換を図り，「Society5.0」を通じて安全安心で豊かさを実感できる地域を創造するため，デジタル社会の基盤である「マイナンバー」や「マイナンバーカード」の利活用を推進した。

また，県と市町村による情報システムの共同利用など，自治体におけるDX推進及び情報セキュリティの更なる強化に取り組むとともに，5Gをはじめ革新的なデジタル技術を活用した地域課題解決に取り組んだ。

II 主要事業の内容及び成果

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
「『未知への挑戦』とくしま行動計画」の推進	みんなが主役！「徳島版SDGs」全県展開事業	<p>「徳島版SDGs・持続可能な社会」の実現に向け、県民、企業等への一層のSDGsの浸透を図るとともに、総合計画の周知を図った。</p> <p>また、高校生や地域の方々を交えた対話集会の開催等、県民からの多様な意見聴取を行い、令和4年3月、総合計画の改善見直しを行った。</p> <p>(5,431千円)</p>
対外発信戦略の推進	「#徳島」実践！とくしま魅力発信プロジェクト	<p>本県の知名度向上、ブランドイメージ確立を加速化するため、徳島の文化や景観、食や体験など徳島由来の魅力を訴求力の高い映像を活用して発信した。</p> <p>また、新しい生活様式に対応し、ネット配信とリアル上映のハイブリッド方式により「#徳島ニューノーマル映画祭」を開催した。</p> <p>(22,996千円)</p>
	大阪・関西万博に向けた魅力発信加速化事業	<p>「産学官金労言」各界からの参画により、「大阪・関西万博」とくしま挙県一致協議会を立ち上げて本県の取組方針を策定するとともに、開幕に先駆けて魅力発信に取り組むため「とくしまバーチャルパビリオン」を構築した。</p> <p>(4,402千円)</p>
真の分権型社会の実現と広域行政の着実な推進	広域連携推進事業	<p>「真の分権型社会」を実現するため、全国知事会や関西広域連合等と連携した地方分権の確立に向けた取組みや、四国圏や近畿圏等との広域連携施策を推進した。</p> <p>(13,249千円)</p>
統計調査の実施とエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進	経済センサス活動調査	<p>我が国の事業所・企業の経済活動を明らかにするとともに、事業所・企業を対象とした各種統計調査の母集団情報を得るため、令和3年6月1日現在で調査を実施した。</p> <p>(45,040千円)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
統計調査の実施とエビデンスに基づく政策立案（EBPM）の推進	社会生活基本調査	国民の社会生活の実態を明らかにし、各種行政施策その他の基礎資料を得るため、令和3年10月20日現在で調査を実施した。 (8,094千円)
	分析実践！EBPM推進事業	エビデンスに基づく政策立案（EBPM）を推進するため、本県の人口動態に関し研究、分析を行い、政策立案や政策評価のためのエビデンスを創出するとともに、データ活用人材の育成を図った。 (3,040千円)
	オープンデータ推進事業	県、市町村等が保有する公共データについて、誰もが自由に利活用かつ再配布できるように、二次利用しやすい形式で公開し、データ利活用による県民の利便性向上や県政参加、地域課題の解決、地域経済の活性化等を図った。 (861千円)
首都圏における拠点機能の発揮	歴史の絆を新たなミライへ！首都圏で「阿波とくしま」魅力発信事業	アフターコロナに向けた観光誘客の促進、交流人口や「徳島ファン」の拡大を図るため、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、首都圏において本県の様々な魅力を重点的に発信した。 (4,200千円)
関西圏における拠点機能の発揮	関西広域連合分賦金	本県だけでは解決し難い課題に関西全体で対処するとともに、関西において本県の強みを活かした役割を果たすため、関西広域連合の一員として、新たな広域行政を展開した。 (32,961千円)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
県立総合大学校「まなびーあ徳島」の機能の充実・強化	県立総合大学校展開事業	<p>21世紀を担う人材育成に向けた「県民“まなび”拠点」である県立総合大学校の機能の充実・強化を図るため、ワンストップ総合窓口の設置、各種講座の開催、人材の育成・活用、とくしま政策研究センターの運営、学習情報の集積・発信等を行った。</p> <p>(9,349千円)</p>
高等教育機関との連携強化	産学官連携・地域人材育成事業	<p>「実践型インターンシップ」を県内各高等教育機関へ横展開するためのマニュアルの作成及びフォーラムの実施や、留学生の就職支援に向けたセミナー等の開催をはじめとする取組みを通じて、留学生を含めた大学生等の確保と県内定着促進を図った。</p> <p>また、連携協定を締結している東京圏大学と県内大学が連携して本県の魅力を発信する「明治大学・徳島大学・徳島県連携講座」の実施を通じて、地域課題解決や人材育成の推進を図った。</p> <p>(5,137千円)</p>
	「とくしま回帰」加速・産業人材支援事業	<p>大学生等の県内における就業を促進するとともに、産業人材の確保を図るため、「徳島県奨学金返還支援基金」を積み立て、大学等を卒業後に県内事業所で一定期間就業した際に、奨学金の返還を支援する助成候補者を認定した。</p> <p>(135,647千円)</p>
市町村行財政の充実強化	広域行政推進費	<p>旧合併特例法に基づき合併した市町に対する財政的支援を行うことにより、合併後の一体的なまちづくりを支援した。</p> <p>(96,658千円)</p>
	市町村振興資金貸付金	<p>人口減少や雇用創出など、地域が抱える緊急課題の解決を目指して市町村が策定した「総合戦略」の着実な実行はもとより、地域資源の有効活用や防災・減災対策などの促進を図り、市町村の実情に応じた「地方創生」及び「安全・安心」への取組みを支援するため、市町村に必要な資金の貸付を行った。</p> <p>(1,293,768千円)</p>

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
地方創生の推進	地方創生推進費	「3つの国難」打破に向け、「GX」と「DX」の相乗効果により、地域を変革させる取組みを、「デジタル田園都市『徳島』進化パッケージ」と位置づけ、「新次元の分散型国土」を徳島から創出し、「ポストコロナ新時代」を見据えた「徳島版SDGs」実装へとつながるよう、「総合戦略・第2幕」を改定した。 (1,746千円)
	地域の担い手創出！サテライトオフィス誘致定着事業	サテライトオフィス誘致10周年を契機とし、県内外で徳島県のサテライトオフィスでの働き方やサテライトオフィス開設のメリット、支援制度等を効果的に発信し、サテライトオフィスの更なる誘致を推進した。 (16,448千円)
	地方大学・地域産業創生事業	大学等への進学や就職などを理由に若者が都市部へ流出している現状に歯止めをかけるため、国の「地方大学・地域産業創生交付金」を活用し、次世代LED応用製品の開発や、光応用専門人材育成等、「次世代“光”創出・応用による産業振興・若者雇用創出計画」の取組みを推進した。 (906,797千円)
移住交流の推進	広がれ！「とくしま暮らし」推進プロジェクト	市町村と連携し、とくしま回帰の機運醸成による新たな人の流れを創出するため、若者をターゲットとしたSNSでの情報発信、都市部でのオンラインを活用した「移住イベント」の開催のほか、ワンストップ移住相談窓口や地域におけるサポート体制の充実・強化などに取り組み、「情報発信」から「移住実現」に至る切れ目ない移住交流推進策を展開した。 (41,919千円)
過疎地域等の振興	「未来につなぐ集落再生プロジェクト」推進事業	地域活性化の新たな「とくしまモデル」を創出するため、官民連携によるアイデアコンテスト「とくしま創生アワード」や集落再生に功績のある団体の顕彰など、集落再生の取組みを展開した。 (3,723千円)

(単位：千円)

項 目	事 業 名	事 業 内 容 及 び 成 果
過疎地域等の振興	自治体行政「2030モデル」研究事業	今後の自治体行政のあり方を検討するため、有識者等が参画する「とくしま自治体行政『2030モデル』研究会」において、引き続き具体的な検討を行い、報告書を取りまとめた。 (156千円)
デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進	デジタル社会のパスポート！マイナンバーカード申請サポート事業	スーパーマーケットやショッピングモール、道の駅など、身近な施設において、マイナンバーカードの申請手を支援する「出張申請サポート」を実施し、県民のカード取得を促進した。 (76,808千円)
	e-とくしま戦略推進事業	「デジタルとくしま推進プラン」の適切な進行管理を図り、本県の情報化を着実に推進するための普及啓発や県・市町村による電子自治体共同システム等の管理・運営を行った。 (23,163千円)
	ローカル5Gプロジェクト加速事業	5Gの活用により地域の課題解決を図るため、県立3病院、農林水産総合技術支援センター、那賀川、海部川等において新たにローカル5G環境を整備した。また、ローカル5Gの基幹回線として利用する毎秒10ギガビットの高速回線を整備した。 (193,735千円)

Ⅲ 歳入歳出決算額
 1 一般会計決算額
 (1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較
総合政策課	200,410,000	260,707,771	260,707,771	0	0	60,297,771
統計データ課	237,782,000	237,792,798	237,792,798	0	0	10,798
東京本部	12,985,000	2,262,852	2,262,852	0	0	△ 10,722,148
関西本部	9,756,000	8,796,432	8,796,432	0	0	△ 959,568
県立総合大学校本部	45,390,000	68,080,071	68,080,071	0	0	22,690,071
市町村課 とくしまぐらし応援課 デジタルとくしま推進課	2,818,985,524	2,251,854,799	2,251,854,799	0	0	△ 567,130,725
計	3,325,308,524	2,829,494,723	2,829,494,723	0	0	△ 495,813,801

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と 支出済額 との比較
総合政策課	1,062,036,000	968,285,784	20,000,000	73,750,216	93,750,216
統計データ課	308,794,000	293,216,322	0	15,577,678	15,577,678
東京本部	210,948,000	197,106,689	9,780,000	4,061,311	13,841,311
関西本部	235,344,000	229,530,191	0	5,813,809	5,813,809
県立総合大学校本部	315,753,000	224,792,065	0	90,960,935	90,960,935
市町村課 とくしまぐらし応援課 デジタルとくしま推進課	4,389,349,524	3,317,454,061	840,350,000	231,545,463	1,071,895,463
計	6,522,224,524	5,230,385,112	870,130,000	421,709,412	1,291,839,412

2 特別会計決算額

(1) 歳入決算額

(単位：円)

区 分	会計名	予算現額	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	予算現額と 収入済額 との比較
総合政策課	徳島ビル管理事業特別会計	73,319,000	387,189,198	387,189,198	0	0	313,870,198
市町村課	市町村振興資金貸付金特別会計	2,304,550,000	3,940,186,426	3,940,186,426	0	0	1,635,636,426
計		2,377,869,000	4,327,375,624	4,327,375,624	0	0	1,949,506,624

(2) 歳出決算額

(単位：円)

区 分	会計名	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	予算現額と 支出済額 との比較
総合政策課	徳島ビル管理事 業特別会計	73,319,000	72,061,700	0	1,257,300	1,257,300
市町村課	市町村振興資金 貸付金特別会計	2,304,550,000	1,293,767,722	0	1,010,782,278	1,010,782,278
	計	2,377,869,000	1,365,829,422	0	1,012,039,578	1,012,039,578